

ひらま通信



平成30年度 第4回浜松市議会定例会報告

風薫る五月がやってまいりましたが、いかがお過ごしでしょうか？

さて、私は先日の第19回統一地方選挙により、引き続き市議会議員として活動することとなりました。次の任期は令和元年（2019年）から令和4年（2022年）になります。新元号により日本全体が明るいムードに包まれる中、浜松市においても明るい話題が数多くあります。現在放映中のNHK大河ドラマ「いだてん」の後半期は、浜松市出身の田畑政治氏が主人公となり、本市が進めるビーチ・マリンスポーツの聖地化にとって絶好の追い風となります。また、9月に行われるラグビーワールドカップでは、日本代表とスコットランド代表が本市にキャンプ地を構えるほか、2020年の東京オリンピック・パラリンピックではブラジル選手団が本市をホストタウンとして滞在する予定であり、本市には国内外から多くのお客様が訪れます。このチャンスを最大限に活かして本市の活性化につなげて参ります。

平成31年度予算は一般会計3,501億円という合併以降最大の予算となりました。引き続き健全な行政運営と、選択と集中の公共投資により本市の持続的な発展につなげていきます。また、本市の元気の源である産業力の強化や、温暖化対策、交通事故件数ワースト1脱出、自動運転技術による路線バスの充実、台風による停電対策など、本市の課題解決に向けて4年間全力で取り組みます。引き続きのご支援をどうぞ宜しくお願いいたします。



3期目の当選を果たしました!

平成31年度当初予算編成の基本的な考え方

都市の将来像

市民協働で築く『未来へかがやく創造都市・浜松』



持続可能なまちづくりへの挑戦

若者がチャレンジできるまち
持続可能で創造性あふれるまち
子育て世代を全力で応援するまち

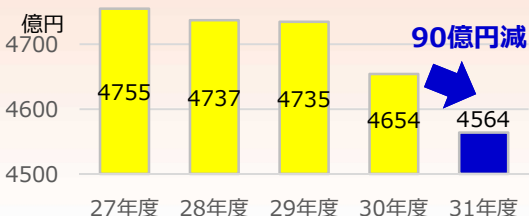
取り組むこと

- ・歳入確保の徹底
- ・交流人口の増大
- ・限られた財源の有効活用
- ・産業力の強化
- ・事業の廃止・見直し
- ・健康寿命の延伸
- ・防災・減災対策
- ・子育て・教育環境の向上
- など

予算規模(前年比)

- 全会計合計・・・6,371 億円 (256 億円増)
- 一般会計・・・3,501 億円 (215 億円増)
※ 昨年に続き政令指定都市移行後で最大
- 総市債残高・・・4,564 億円 (90 億円減)

総市債残高推移



- 市民一人あたり・・・57万円(1万円減)
選択と集中で限られた財源を有効活用していきます。

当初予算案のポイント(具体的項目)

子育て支援の充実

高校生の医療費助成・・・199,100千円
自己負担額 入院500円/1日、通院500円/1回 (2019年10月から)

都市の魅力向上と発信

2020東京オリンピック・パラリンピックブラジル選手団ホストタウン
プレキャンプ開催、アスリートフェスティバル開催など・・・89,698千円
ビーチ・マリンスポーツ推進
遠州灘海浜公園ビーチスポーツコート整備・・・71,123千円

次世代を見据えた地域コミュニティの形成

UDトークを活用したコミュニケーション支援・・・2,000千円
タブレット端末を活用したリアルタイムでの会話の翻訳、文字化

地球温暖化対策事業

燃料電池自動車の導入・・・743千円



詳細はこちら↑

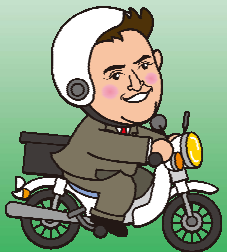
ひらま^{良明}_{よしあき} 3期目当選!!



「情熱を市政に!」を合言葉に浜松の課題をひとつでも多く解決できるように3期目となる4年間もしっかり活動をしてまいります。引き続きご支援をよろしくお願いいたします。

【編集後記】

「ひらま通信 vol.35」はいかがでしたか？今後も引き続き活動内容をお届けしていきますので、よろしくお願いいたします。
 今後も皆さまの声をいただきながら、より親しみやすい紙面づくりに邁進します。次回の「ひらま通信」にご期待ください。



全国本田労働組合連合会 静岡地協
 議長 小久保友博
 〒433-8114 浜松市中区葵東1-13-1
 (TEL) 053-436-4411

SNSで情報を発信しています

